

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公開番号】特開2010-256911(P2010-256911A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2010-122121(P2010-122121)

【国際特許分類】

G 02 F 1/167 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/167

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日(2011.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化合物液滴(54)を形成するための方法であって、該化合物液滴(54)が、第1液相(10)のコアを含み、該第1液相(10)のコアが、該1第相(10)と非混和性の第2液相(12)の外側相によって取り囲まれ、該方法が、以下：

該第1相(10)が、第1流体中に懸濁された複数の粒子(20)を含む非水性内部相であること；

該第2相(12)が、外部相であって、該外部相が、固体化され得てマイクロカプセル壁を形成し、第2流体を含み得ること；

該第1相(10)が、開口端(52a)を備える第1チャネル(52)を通過すること；

該第2相(12)が、開口端(50a)を備える第2チャネル(50)を通過し、該開口端(50a)が、該第1チャネルの該開口端(52a)を取り囲むこと；および

キャリア流体(64)が、該第1および第2チャネル(52, 50)の開口端(52a, 50a)の周りを通過すること；

それによって、複数の該化合物液滴(54)を該キャリア流体(64)内に形成すること、

を特徴とする、方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法であって、前記キャリア流体が気体であることを特徴とする、方法。

【請求項3】

請求項1に記載の方法であって、前記キャリア流体(64)が、前記第2相(12)と非混和性の流体であることを特徴とする、方法。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか一項に記載の方法であって、前記第1相(10)の周りにマイクロカプセル壁を形成するために、前記第2相(12)を固体化することを特徴とする、方法。

【請求項5】

請求項4に記載の方法であって、前記化合物液滴(54)が、前記キャリア流体(64)

内に依然として保持されたままで、マイクロカプセル壁を形成するために、前記第2相(12)を固体化することを特徴とする、方法。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか一項に記載の方法であって、前記第1および第2チャネル(52、50)を振動することを特徴とする、方法。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか一項に記載の方法であって、前記収集流体が、前記第1および第2チャネル(52、50)の前記開口端(52a、50a)に隣接して狭くなる第3チャネル(58)内に制限され、その結果、該収集流体が、該開口端(52a、50a)を通過するように加速する、方法。